

TOSHIBA生成AI活用サービス **AI-no-te[®]**

文書活用サービス

社内文書を 生成AIで活用して 業務改革

資料作成の自動化

情報格差をなくし属人化を排除

既存の情報資産を有効利用

「文書活用サービス」は生成AIを活用し、 社内のあらゆる文書を有効活用するソリューションです。

企業の成長を支えるのは、そこで働く人々の知識や経験、そしてそれらが蓄積された「文書」です。しかし多くの企業では、貴重な情報が埋もれてしまい、必要な時に見つけられないという課題を抱えています。生成AI活用サービス AI-no-te「文書活用サービス」なら自然な言葉でAIに質問するだけで、必要な情報を会話形式で引き出すことができます。

「文書活用サービス」は単なる情報検索ツールではなく、社内文書の有効活用による業務効率の改善、人材育成の促進、顧客満足度の向上を実現します。

特長
1

文書活用を手軽に実現する オリジナルテンプレート

生成AIで文書活用する仕組みをテンプレートでご用意しています。迅速な導入が可能となり、データを入れて試して...というサイクルを素早く回すことができるので効果を実感いただけます。

特長
2

文書間の整合性 チェックを実現

文書間の整合性をチェックし、文書の一貫性を保ちます。改訂が必要な箇所を探し回らなくても、自動で抽出されるので修正箇所を探しやすくなります。

特長
3

万全のセキュリティ

お客様ごとの専用 Azureクラウド環境を構築します。社内の情報が学習データに使われてしまうかも...という不安を解消し、社内文書の情報漏洩も防止します。



活用事例

case.1

<精密機械製造の品質部門>

過去の異常報告書のナレッジベース活用

課題

- × 異常報告書には同じ意味の事象を異なる言葉で表記しており、キーワード検索では欲しい情報がヒットしない
- × 新しく部署にきた人はどんなキーワードを使えばよいか分からず検索が困難

期待できる効果

- 必要な情報を迅速に発見、異常対応のスピードが向上
- 熟練者の教育負担を軽減
- 新人の学習期間を短縮、早期に戦力化

case.2

<電子部品製造のマーケティング部門>

製品情報の要約と平易化でウェブサイトアクセス向上

課題

- × 製品の技術情報を公開しているが、技術者の文章は一般読者に理解しづらくサイト離脱を招いていた
- × 要約をつけて情報を探しやすいようにしたが、専門用語が多く要約に時間がかかる

期待できる効果

- 要約作業の時間とコストを削減
- 要約されたわかりやすい製品情報で読者の理解を促進、ウェブサイトのクリック数とアクセス数が向上

当社の総務部でも導入してみました！

200種類以上の社内規程を学習させて社員向けの「規程質問サイト」として公開。公開後の社員アンケートで「目的に合った答えが得られたか？」について64%が“得られた”と回答。さらに「規程質問サイトは有用か？」について82%が“有用”と回答。

実際に使った社員の感想はこちら

- 大量の規程から探すのが便利になった
- 規程を見ることに抵抗がなくなった
- 引用元のリンクも表示され回答の信頼度が高いと感じた

総務部からもこんな感想が

- 社員からの直接の問合せに追われなくなった

継続的な改善活動として

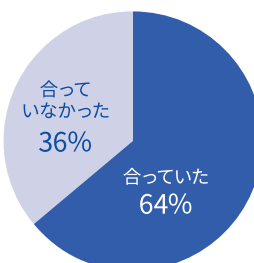
RAGでさらなる回答精度向上を実現！

□本文中の会社名および製品名は各社が商標または登録商標として使用している場合があります。
□本資料は内容は予告なく変更される場合がありますのでご了承下さい。

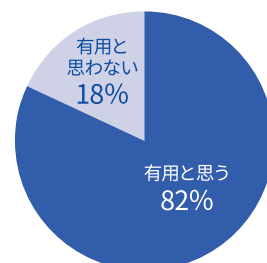


アンケートの回答者の8割が規程質問サイトを有用と判断しました！

社内規程を検索して回答は目的にあった内容が返ってきましたか？



本サイトは社内規程を調べるにあたって有用だと思いますか？



※出典:「規程質問サイトのご意見」アンケート結果

(LS00060)

東芝デジタルエンジニアリング株式会社

E-mail: TDEN-sales@ml.toshiba.co.jp

https://www.toshiba-tden.co.jp